



隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小
～ 明日が楽しみな学校をめざして ～」

隈府小学校
学校だより No.14
文責 芹川博文
7月17日(金)

「あしあと」を 味わう ～ 前期前半を終えて 子どもたちの姿から ～

運動会など大きな行事と同様、日常の姿に感じる「あしあと」。私なりに感じた前期前半の隈府小の「あしあと」を紹介します。小さなことでも、子どもたちは自ら考え、なかまと高め合う力を育ててきたと感じます。そして、明日が楽しみな隈府小につながっていくと願っています。



熱い中でも工夫して遊びました。
丈夫な体づくりをめざします。



栽培委員会の新企画、収穫野菜じゃんけん大会。大盛り上がり。



生活委員会の呼びかけで変わった
トイレのスリッパ。気持ちいいです。



学校外でも褒められるあいさつ。
児童会の活動が土台となっています。



登下校も「学びの場」。安全面、体力、町の様子、季節感・自立へ。

日本各地とつながる「菊池一族」 ～ 宮崎県西米良村 村所小学校との交流を通して ～

約20年、村所小学校との交流が続いています。「よろしく」「久しぶり！」子どもたちの笑顔が広がりました。子どもたちの事前学習の内容にも驚かされました。静岡県で戦の際に、棒の先に刃物をつけて使用した槍が千本槍の起源とのこと。



隈府小より披露「千本槍」



村所小より披露「神楽体操」

友好姉妹都市の宮崎県西米良村、鹿児島県竜郷町、岩手県遠野市をはじめ、福岡県大刀洗町、佐賀県武雄市は知っていましたが、静岡県ともつながっていたとは知りませんでした。当時、1,000km以上の距離をどうやって移動して戦をしたのか。想像はどんどん広がります。村所小との交流も、どんどん深めてまいります。

「まさかの時の友こそ 真の友」 ～ 1年生がとっさに取った行動 ～

危機の中、友のためにとっさの判断で行動した1年生のお話。放課後、学校を出て、1年生が学童に向かう下校中、あまりの暑さに一人の子が体調不良で歩けなくなりました。そこで一緒に下校していた子たちが取った行動は・・・。

数人が大きな声で大人に助けを求め、2人は目的地の学童に先生を呼びに行き、別の子は防犯ブザーを鳴らし、また別の子は自分が持っていた冷たい水を飲ませたとのこと。気づいた大人の方が、学童と学校に電話をしてくださった際にも、「ありがとうございました」とお礼を言ったと聞いています。

次の日、メンバーを校長室に呼んで、その時の様子を聞きました。とっさに取った行動は、まさに「まさかの時の友こそ 真の友」。全校児童に下校時の注意点を確認するとともに、彼らの取った「自ら考え、なかまと高め合う」行動のすばらしさも紹介しました。



保護者の皆様、前期前半、大変お世話になりました。今後とも、よろしくお願いいたします。